

12 / 12 (木)

七つの封印

ヨハネの黙示録第六章―17節

彼らは大声でこう叫んだ。「聖なるまことの主よ、あなたはいつまで裁きを行わず、地に住む者に私たちの血の復讐をなさらないのですか。」(10)

小羊なるキリストが七つの封印を開かれます。これらは世の終わりにおいて起る神の審判の様子を語っています。第五の封印が解かれると、キリストを証したために殺された殉教者の魂が祭壇の下に見えました。彼らは罪なき者を殺す者への裁きを求めます。「聖なるまことの主よ、あなたはいつまで裁きを行わず、地に住む者に私たちの血の復讐をなさらないのですか」。殉教者たちの「主よ、このままでいいのですか、あなたの正義はどうなるのですか」という問いかけは、当時の教会の呻きだったのでしょう。迫害の中で苦しむ者たちの真実な叫びです。これに対して主は、「もうしばらくの間、休んでいるように」(11)と答えられます。それは終わりのない苦しみではありません。封印は小羊なるキリストの手にあるからです。世の終わりにおいても、キリストが全ての支配者なのです。